

京橋の印刷

12月15日 1984・No.58

東京都印刷工業組合京橋支部
〒104 東京都中央区新富1-16-8
日本印刷会館3F 電話 552-1855

編集 神林克明
尾島賢一郎



印刷の歴史

副支部長 水野 雅生

人間は紙を発明する以前は色々な材料に字を書いた。東洋においては竹や木、木の葉が用いられ、これに文字が書かれたりした。

西洋においてはエジプトのパピルス紙が英語のペーパー、独語のパピイヤなどの語源になっているように最も紙に近いものであった。

今回はこのパピルスについて述べてみたい。

パピルスはアフリカ各地の川や湖の浅瀬に育ち葦科のかやつり草の一種の水草である。古代エジプト人は、このパピルスの茎から筆記用具を作り、衣服の材料にもし、またこれをたばねて葦船も造り、日常生活に欠くことの出来ない物であった。筆記用具としてのパピルスは五千年も前から古代エジプト人の信仰、習慣、生活その他なんであろうと、自分達の文明に関連する事柄について書き留め、人類の歴史に大きな役割を果たした。

二年毎に開催される中央区工業文化展は、今年で第三回を迎えて、場所も日本橋・三越本店七階催し場の本館と新館を結ぶ渡り廊下際という地の利を得て開催されました。



開幕のテープカット 横関中央区長（左）宝田工団連会長（右）

予想を越す参観者で賑う

「第三回 中央区工業文化展」見学記

10月23日〜10月28日、於・日本橋三越七階催し場

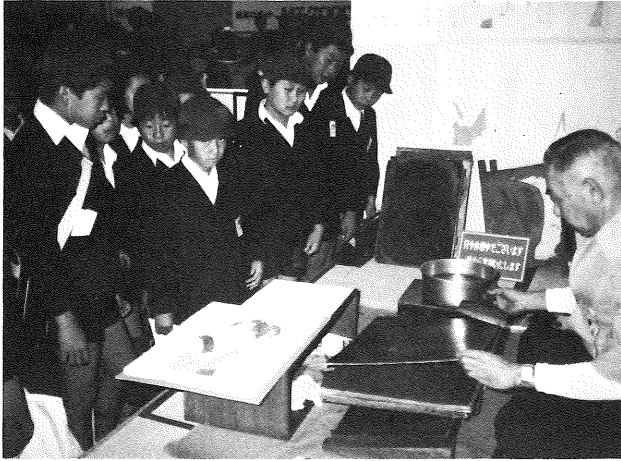


ミス中央区と記念写真左から 児玉氏、白橋氏、伊坂氏、小葉支部長

当日は開店前の午前九時四十五分に各役員や事務局、商工課の方々も参加して打合せの後、中央区の横関区長と工団連宝田会長による開会のテープカットを皮切りに招待者をまじえて会

場の展示内容を一巡して見学を行った。引続いて、新館七階の食堂の別室で来賓、招待客を交えてレセプションが行われ、横関区長、宝田会長のあいさつ、区議会議長、商団連会長等の祝辞をいただき開催を祝して乾杯が行なわれた。今回は第三回目ようやく展示内容にも着落きが出て、手作業の和本綴やマーブル作業等の製本関係が圧倒的人気を博し、版画工房やデザイン工房も含めて原稿作成から印刷、製本迄を上演してわかり易い配慮がなされていました。印刷関係ではチャリティー向けの名入れ原稿用紙の配布に人気があり、又見学記念のアルプス写真ポスターや「京橋の印刷」も無料配布し参観者の多くが持ち帰り好評を得ました。これ以外に版画の実演、小、中学校を地図上にイラストした中央区マップや明光商会の絵入りキヤラクター商品等を入れた「パウチツコ」が出品されて珍らしさが学童に人気を集めていた。このほか印刷関係はカラー分解のフィルム工程が壁に貼られたり、(株)モトヤが電子編集組版シリーズ、富士機械サービス(株)がワープロ機最先端をゆく組版コンポネットが展示されて印刷業界の人々や、一般の人にも現在の印刷業界の技術革新の進行状況を否や応なく感じさせるものでした。

中央区産業の製造出荷額の83%を占める出版印刷関連産業も古い体質を脱皮しつつ、新しい未来産業として発展してゆく姿を現わしており今後も中心産業として中央区行政の大きな柱と



版画の実演を熱心に見る学童たち

して盛り立てて行かねば、中央区の発展も期待できないと思われます。現在港、中央、千代田等の都心では再開発が盛んとなり、民家や工場が取り壊されて、ワンルームマンション等が建設される傾向にあるとか、この入居者の多くは他府県に住民登録を残して入居する、いわゆる都区の税収にならない幽霊人口が多いと聞きます。都心の印刷関連事業所の周辺地域への移転傾向を押える目的からも、今回の工業文化展は中央区民や行政関係者に地場産業としての印刷関連業への再認識をさせて、施策を成す上で大きな意義があったのではないかと思われます。

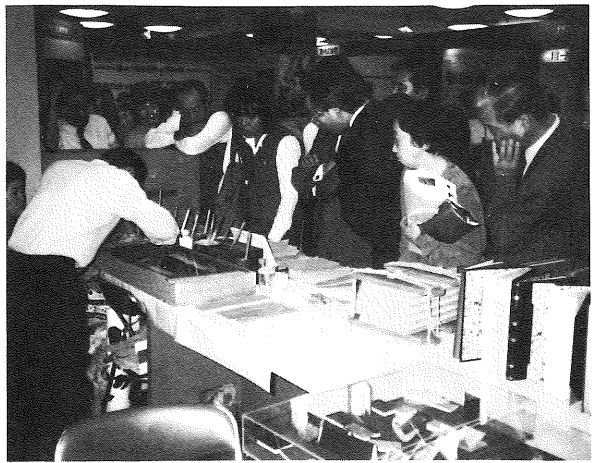


鳩山議員を迎える宝田会長

今回の入場者数は当初、三越側では一日三千人程度でないかとみていたようですが、以外にも六日間を終わってみると総計三万五千人以上も入場者があったという。(一日当り四千人以上)ちなみに学童の見学数は約千五百人で前回なみでしたが、デパートという建物内で行われたにしては上々の入りで、会場を無料提供した三越さんも喜んでいたという事です。
最後に六日間という長い間、毎日詰めつきりでした商工課の職員や工団連の役員の方々、これをバックアップした各協賛会社の協力に心からの敬意を表します。
(編集部)



和本綴を見学する深谷議員



芸術の紋様に感嘆の声が

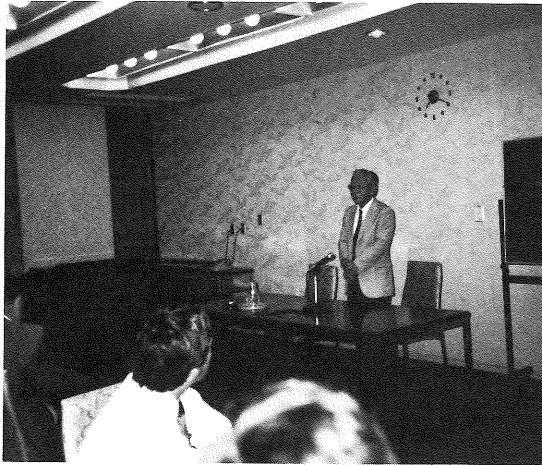
京青会発足五周年記念

山谷親平講演会要旨

昭和五十九年九月五日 於 中央 会 館
主 催 京 橋 支 部 印 刷 人 青 年 会

日本の危機とマスコミの責務

本日は遅くなつてすみません。私の家は赤坂なのですが、韓国大統領の来日警備でもって、溜池から日比谷交差点迄全然車が動かないのです。混雑するから帝国ホテルの方から廻つて行つたらとタクシーの運転手というと、その人



講演をする山谷親平氏

は頑固で、皆がここは混んできると思うから行かないので却って早いというので、そのままきたら案の定渋滞になって、こちらは気持があせつていたのですが、15分も遅れ、大変申し訳ありませんでした。日本にとってはあまりメリットがないからあんな人は本当は呼ばなくてもいいのですよ。韓国と仲よくしても今なんのメリッ



100名以上も参加して沸く会場

トがあるのか、しかし韓国にとっては日本と仲よくすれば金がでてくるメリットがある。韓国は今、新しい国づくりをしているので88年にはオリンピックをやりたい。それまでに近代国家にしておきたい。皆さんの会社でも、近代化するためには建物の中を改造したり、電子計算機やOA機器を入れたりで金がかかります。金は欲しいといって貸してくれるところは韓国にとつては日本しかないのです。さて、朝日だからNHKは、ありもしない事を報道し、例の教科書問題と南京大虐殺事件です。私共、が記者の頃は全部自分で読んだものです。パッと役所が発表しますと、徹夜してでも読みました。ところが今の新聞記者はジャルパックみたいなものです。どさっと、くるどくじを引いて皆で分けてしまう。そして皆で少しづつ分けて読む、そして翌日記者室でもってお前のはどうだったとお互に聞いてそれをずうっとつなげて作っている。だから新聞は一社でいい、どの記事も同じです。ところが日本のテレビ記者がばんくらで間違えた。他の新聞を自分が読んでないから南京大虐殺についてそれをそのまま右へならえて書いてしまった。進出を侵略へ、侵略を進出とそんな書き直した教科書一つもないのです。それなのに書いてしまった。NHKのあの磯村尚徳が報道局長ですが、彼は社会党の上田哲代議士の一の子分で、それで出世したのです。フランス語や英語がうまくて出世したのではない。外国語で出世するなら交通公社や近畿日本ツーリストの方がよい。上田哲のお蔭で出世した。親分が

社会党だから磯村が報道局長になって一番の仕事は何かといえば教科書のミスリードです。午後9時のNC9、ありもしない事をやったものだから皆本当と思ってしまう。又その時の総理大臣が日本で一番出来の悪い人だった。鈴木善幸氏。彼は水産学校では出来がわるく気立てはやさしいが敵はない。水産学校の校長が単位農協の組合長ぐらいになるだろうと自分の娘に、嫁に行つてはどうだと勧めてそれで一緒になった。ところがそれが総理大臣までなった。奥さんはこんなになるとは思わなかつたので、いい迷惑だといつていたそうです。

ところで大平さんはころつと死んでしまった。次に総理大臣になりたい人はたくさんいるわけです。たくさんいるが表に出すとけんかになるので、中でも皆にきらわれていないのは誰がいいか、というので彼になった。

少し足りない奴は誰にもきらわれないものです。人畜無害というわけです。ところが鈴木さんは人畜無害だけど、まさかない事があると書いて中国に謝りに行くとは思わなかつた。

私の放送ではそのようなものはないと言つて放送し、竹村健一もフジテレビでやった。そういう事はないという新聞はあつた。サンケイ新聞は素早く謝つた。読売新聞もあとでそういう事はないと謝つた。ところが朝日はしぶとい新聞で謝らない。あれは悪い新聞です。例をとれば、日露戦争の時に、奉天大会戦でようやく日本軍は勝つた。あれ以上戦争をつづけたら日本はロシアに踏みつぶされていた。奉天大会戦で

大山元帥が予備兵を一兵残らず出してしまったのです。それから二〇三高地で戦つた乃木第三軍、あれまでも会戦に投入してしまつた。予備兵力が少しもないという世界の戦史にない戦争をやつた。全部突撃させてようやく勝つた。ロシアはそれを知つてますからもう一度やれば勝つとわかつている。そこへアメリカのルーズベルトがこままと止めてくれた。だから勝つたのです。勝つた時点で止めてくれた。そしてアメリカのポーツマスで平和条約を結んだのです。日本は勝つたといつてももう一度やれば、負けるのですから、小村寿太郎外務大臣は樺太は半分で結構ですといつて帰つてきた。その時に朝日新聞は何を書いたか、朝日は明治天皇陛下はもう一度ロシアに宣戦布告してロシアを完ぶなき迄に叩かなければならないと書いています。だから訳のわからない人はそうだそうだと思うでしょう。そこで暴動がおき、日比谷公園の松本楼焼打ち事件となつた。その先頭にいたのが朝日新聞で、民事新聞というバカな新聞もあつたが、この二つの新聞が原因であつた。満州事変を扇動したのが朝日新聞、上海事変を扇動したのも朝日で、上海陸戦隊が70人で1万5千人の中国軍(第八路軍)と対戦し、3ヶ月も支えたとありますが、それを朝日新聞は、「ああ上海陸戦隊」と大見出しで煽つて、それでもつてパアツと走つた。今でも結構利巧ぶつて米国が何も怒らないので米国の悪口ばかり言つてソ連の事を少しも言わない。

NHKなどは朝日新聞コンプレックスになつ

ている。朝日もNHKにくつついて歩いていて、このようなことはいけな思ひます。もう早急にこういう事は改めなければなりません。話はわきへそれましたが、とに角日本のマスコミはゆがんでる。これは直さなければいけません。だれが直すかそれは皆さんが直す。朝日新聞がよくない新聞だと思つたらとるのを止めればいいのですけど、日本人というのはおもしろいもので、悪い新聞だけれど親の代から読んでるのでとるとこう言うのです。世界広しいといどもこういう国も珍らしい。第一世界的にもこういう新聞はあまりない。世界で一番権威のあるニューヨークタイムズが87万部、英国のロンドンタイムズ38万部、フランスのル・モンド36万部、我が国の朝日新聞は70万部です。こんなに多く発行したら、本当の記事は書けません。NHKにしても2千万世帯から金をとつている。本当の事を放送できるわけではない。なぜならもお米が高過ぎるとNHKがニュース解説で放送したらどうなりますか。農民が皆聴視料の不払運動を起したらNHKはひっくり返つてしまふ。だからNHKのニュース解説者は絶対そのような事はいわないでしよう。私ならお米は世界の5倍も高いと朝の放送でいくらでも言ひますけれど、私の放送を聞いているから、ああそうかとお思ひになるけれども、NHKの解説者は「米は高い、しかし百姓の事を考えると高くもない。どうすればいいのか、成り行きが注目される。」(笑)。私はいつも言うのです、「成り行きが注目される」と。成り行きが注目される

大体NHKの解説員というのはだれでもやれるのです。頭のいいのは報道局長とか、理事になる。そして一番頭のいいのが、評論家になる。(笑)。そして理事にも、役人にもなれなかった人が、定年退職間近にして解説員になる。うそだと思つたらNHKの解説員をお呼びになつてみなさい。公演料は私の塚か塚で来ます。喜んできます。NHKではウバステ山という。何となれば解説というのにはばかでもできるのです。NHKには調査室というのがあって、そこへ行けば引出しがある。東芝の事を話そうと思えば、東芝のファイルを抜けば東芝の事は全部新聞の切り抜きが入っている。つぶれたリッカーの話をしようと思えば、リッカーの引出しに全部入っている、そのファイルを持ってきて、机の上にざつと設立から並べてそれを15分にしやべる範囲に縮めて、そして、最後に成行きが目される。(笑い)とこんな風にくる。これはもうマスコミじゃないのです。ところが日本人はこれがマスコミだと思つている。マスコミというのは必ず評論が入らなければいけないのです。評論というのがなければ解説だけではマスコミとしてだめなんです。

これは悪い、これはいいというのがなければだめなのです。皆がこちらがいい、というがこちらのこれもいいというのが評論なんです。

皆がこちらがいいというのに一人だけあちらがいいというと、皆が賛同しているのに悪いからおれもこっちにしよう、とこんなのは評論ではないのです。評論というのは百万人といえど

も我ゆかん、皆がこちらがいいというのに、一人だけあちらという。だから新聞はたくさん読まなければいけないのです。日本にはそれが無い。一つの新聞がこちらに向いたら、皆ダダッとくつついていつてしまふ。これではソ連の新聞と同じです。中国の新聞もそうです、これでは国民が判断を誤る。ここがまず第一番目の日本の危機です。

新聞を読むのも注意しなくてはいいけない。そして読売新聞にしても発行部数は800万部、こんなに増えるのだめなのです。さきほど言つたように国鉄が悪いといつても国鉄がこわくて叩けない。国鉄42万人の労組が不買運動を起すと発行部数が42万部おちるので叩けない。「国鉄はいかん、国鉄は今や断末魔の状況である。みんなして真剣に考えなければいかん。」真剣に考えるのは、何十年も前から考えているのです。そんなことは今さら言われなくても、どうすればいいのかが問題なのです。ところで何故外国の一流新聞は発行部数が少ないかと言えば、悪いものは悪いとはつきり言うから発行部数が少い。多くしたら言えない。不買運動を起すなら起せとやるからです。外国では200万部以上になるとこれはイエロー新聞、インチキ新聞というのです。日本の新聞はそれでいくと全部インチキ新聞という事になる。サンケイ新聞は200万部だからそれ以上は全部インチキ新聞という事になる。日経は200万部位だから日経、サンケイ以外の朝日、毎日、読売はみなそうです。東京新聞はキヨロキヨロして朝日のいうとおり。

あれは読まなくもいい、朝日新聞読んでのと同じです。

現在は文明の過渡期

さて、今日日本で第二番目の問題は何かといえ、まず先が判らない。先が読めない、この先どうするか想像できない時代、これなのです。将来が判らないものだから、皆、自分のことしか考えない。そこに問題があるのです。これは今から200年前にもありました。一万年前に今のイラン、イラクで原始社会から農業改革に入つた。アラビアとエジプトで農業革命が起きて、それから農業時代に入り、皆が集つて生活しはじめた。それから政治だの経済だのが出来て来たのです。家族というのはみなそこから出てきた。

一万年前にそういう農業文明でやってきて、それが200年前に英国とオランダで産業革命が起きて、産業文明になった。それ以来文明がつづいてきたが、これが10年前位から産業文明が崩壊しだして現在に入った。ところが現在の大人は産業文明がそのまま続いていると思ひ込んでゐる。子供の教育が産業文明だと思ひ込んでゐる。産業文明で子供を教育しようとするから子供に通用しないのです。「古い事をいうなよ」と子供には受入れられない。

大変な世の中になつたなあ、と父親は一生懸命なげているのです。しかし少しも困る事はないのです。昔の方が悪かった。昔は日本の軍隊はよその国をいじめにいつたりして、他の国

が迷惑しているのに、その時の方がよほど悪かったのではないですか、あの頃の日本と今を比べれば、ほかの国に迷惑をかけてないだけ今の日本はよくなっています。生活にしてもよくなっています。暑い暑いといっても昔はうちわしかなかったのですから、縁台将棋でもして涼むしかなかった。

現在はクーラーがなくても扇風機位は各家庭どこでもあるでしょう。家も昔に比べればよくなっています、けれどもこの時代も終わったのです。どういふ事かと申しますと、農業時代は種子。種子がみつかり、鍬や鋤をつくり、それから始ったわけで、気候や大地を相手に生活するから、いくら一生懸命やつても限界がある。人間の努力というのはそういうものです。だから神様、仏様となる。宗教、神秘主義となる。農業時代の人間は宗教神秘主義。ところが産業時代に入ってくると宗教神秘主義ではおつかない。お前の所はどうして今日種子を播かないのだ。「今日は三りんぼうだからやめた」と。今は三りんぼうだから働かないといえは馬鹿な事をいうとなる。三りんぼうだろうが仏滅だろうが、機械や自動車は動くわけです。

何故動かないかとなるとガソリンがないからとか故障しているから動かないわけです。機械を中心として生活するようになった産業時代は合理主義で、いいか悪いか理屈で動く時代になった。だから我々の学生時代はおまえの意見がいいか、おれの意見がいいか今晚徹夜で議論しようではないかと議論して、どちらがいいか

結論がつかず、ああ疲れたから寝ようかとなる。(笑い)今の学生はいいか悪いか議論しようといえは、「いいよ、おれは寝るよ、そんなのは好きじゃないよ」とそれで終ってしまう。今はなんでそうなのか。今は電子計算機。これが出てきたらもう途中の理屈なんかどうでもいいわけです。何が何だか判らなくてもポンポンと数字のキーを押していれば答えがパッと出てくる。「出たよ、ああそれじゃ、それでいこう」となる。出てきた答が気に喰わなければもう一回やってみよう。こつちの数字を入れてみよう。又入れ直して出てきた数字で「これでいいやこれでいこう」となる。途中はどうでもいいのです、テレビにしてみよう。テレビが出てきて30年になります、この以前の時代は新聞でした。活字です。活字というのは合理的でしょう。白墨をみた事のない人に活字で説明しようとする。れば理論整然と説明しないと判らないでしょう。テレビなら簡単です。これが白墨といえはいい。だからテレビ、電子計算機というのは非常に感覚的なものなんです。出て来たものをみて好き嫌いでバンバンとやってみればよい。だからもう世の中、変ってしまった。人生相談を私はやっていますけれど、人生相談を始めた20年前は、ある奥さんが浮気をしたというので、奥さんに「やめた方がいいですよ」というと、「ああそうですか、それじゃ止めます」と止めてくれた。今は「あなた止めた方がいいですよ」と忠告すると、「悪い事はわかっています。でも好きなんですよ」とくる。(笑い)子供が

シンナーを吸って、お巡りさんがそんなものを吸っちゃ身体が駄目になるぞと言います。シンナーをやめないと、心臓弁膜症か循環器の障害で呼吸器がやられちゃうのだから兎に角、早く止めると言うのと、終りまでいって「だって好きなんだもん」となる。私の住いは赤坂なのですが、その辺りはガキが何だか知らないがオートバイをブイーブイーとふかしているのもうぶったたいてやろうかと思うのです。たまには取っつかまえて、「お前らうるせえぞ」と言う。「おい親平さんか、悪い事はわかってるんだが、好きなんだからいいだろ、あまりガミガミいうなよ」とくる、全く頭にくる。暴走族も、悪い事は判っているが好きなんだよとくる。

国会議員にしてもそうでしょう。田中角栄がいいか悪いか、そんなの悪いに決っています。徴役4年も受けて、世界160カ国もの国で、徴役4年も宣せられて威張っている議員のいる国がどこにありますか。どこにもないですよ。こんな徴役4年がでかい面して威張っている国は日本だけです。こんな恥かしいのは、国内でも近代政治になった明治以降、はじめてです。でさえ面してお巡りさんを30人もひきつれてゴルフしているなんてこんなバカな国はないです。自分の身が危なかったら、警備保障会社のガードマンをたのんで歩けばよいではないですか。又警察庁長官もだらしなさすぎる。ゴマすりをやって……。角栄は税金のお巡りさんを30人もつれて県警と県警に跨がって群馬と新潟の間で

ゴルフをしている。両方で60人ものお巡りさんをつけている。そこへいくと中曾根康弘は賢い。跨がってゴルフするとお巡りさんが倍になるから、そんな時は前の晩に向うの県へ行つてしまふ。そうしてお巡りさんをなるべく増さないようにやっている。そこまで心遣いがある。彼の方が田中角栄よりよほどよい。まあ世の中こういうふうに変化している。一万年前からきた世の中が急角度に変わってきています。昨日と同じ事をやっていたはだめなのです。先が見えないのだから、電子計算機の世の中に新しく入ってきたといいますが、変わるのに50年位かかった。それが20年前と一万年前です。この20年前にドイツでピーターマイヤー時代というのがあった。ピーターマイヤーというのは小学校の先生の名前です。この先生がそれまでは宗教神秘主義で教えていた。神がどうし給うた、神がどういったといつておれば皆がいう事を聞いた。ところが世の中変ってきたら小学生などは神の話をしても言う事を聞かないというわけで、神というのはほんとうにあるの、こういう時にこういう事をするとなぜいけないんだ、何で、何でと聞くのでピーターマイヤー先生説明ができなくなってきた。おれは会ってないから判らないというと先生何も判っていないじゃないかというわけで今でいう、校内暴力が起きた。世の中の変わり目というのはこういうことが起きるものです。やはり20年前にも起きて弱い先生はぶんなぐられた。彼もだらしのない先生だったので、学校に来るのがいやになった。考えて

みれば、手前の家だけきちんとなつていれればいいやというわけで自分の家だけを大切にしたい。しかし思えば、子供というものは結婚して、そのうちにどこかへ行ってしまうのですから、女房だけ大事にしてあげばいいやと女房だけ大事にした。夫婦だけで子供はどうでもいいやというわけです。その内、又思うに女房も浮気してどこかへ行ってしまう。おれだけ大事にしていれればいいんだという事になった。(笑い) エゴイズムになつてしまつて、結局家族がみんなばらばらに出ていってしまう、ピーターマイヤー先生孤独で淋しくなり、最後は首くくつて死んでしまふという小説なのですが……。これが売れた。ピーターマイヤー時代といつて、今から150年、200年前。現代もちよつと似ているんじゃないでしょうか。何となく皆、エゴイズムになつて、最近の学校の先生も荒れる子供がいたつて知らん顔で見えないふりしている。

この前も千葉の新しく増築した学校を見に行きました。私は学校に用があつたのではないが、学校である会があり、そこで話をしてくれという事で行つた。校長先生がちよつとここでお待ち下さいというので教員室で待つていますと、中学生のガキがガタガタと入つてきて、「先公お茶」ところくるので何を言っているのかと思つたら、先生の事を先公というのです。そしたら先生は、「ハイハイ今持つていきますからね」と言うのです。あんなつたらおわりです。私が先生なら、「ちよつと来い、この野郎」と一発バカッ!!とやるところですが全くもう驚

いてしまいました。

こういう事をやっていたは教育は駄目です。そして、この学校のPTAも何もいわないらしいのです。それをやると、最近はずまきママというのがあるらしく、池田理恵みたいなもので、頼りないのだけれど、頭はカラッポだけれど左派的な事をいうと頭がいいと思われののではないかと思つてやつています。あの池田理恵というのは別にどつてことはないが、作家でも、何でもなし、ただあれはうしろに、花柳幻舟といつて、裸になつてとび歩く女がいますが、あれがついている。その花柳幻舟の後に本田勝一という左まきのベトナム戦争を煽つた朝日新聞の記者がいる。そういうふうな、色と欲でつながっているのです。それでもつて週刊誌がはやす。そしてテレビが又それを追つていく。全くもつてバカじゃないかと思ひます。話はそれましたが、このように世の中は全く乱れている。先がみえない、どうなるか判らない。けれども価値観が多様化したという事です。価値観というのは、自分がやりたいと思う事です。

おれは金持ちに成りたい。これがおれの価値観。そんな事はどうでもいい、おれは人に尊敬される人に成ればそれでいい、これも価値観。自分のやりたい事、これが多様化してきた。

今朝、日本放送の私のダイレクターに、君たちは何が欲しいかと聞くと、何も欲しい物はないが、強いていえば50坪位の家があればいいがそれも所沢や千葉では通勤に一時半もかかるので困る、それだから築地あたりで15坪でもい

いという。家もすぐには困らない、豊かな時代になった。今はこのように共感なき時代、共通感情のない時代になった。共感なき時代だから先がみえないのです。先が見えないから、何をしたいかわからない。目標が見えないから何となく生き甲斐がないのです。生き甲斐がないから、年とつてくると腰が痛い、頭が痛い針をしてもらうか、アンマをしてもらうか、健康薬を飲むか、ハトムギでも飲むか、となつて健康薬品の売れ行きがよくなる。

この共感なき時代、多様化した価値感の時代をどういうふうに生きるか、この問題に、今我々は直面しているわけです。今は少々の金があつてもしょうがない。

小佐野賢治ぐらい金もついても、此頃は少しも尊敬されなくなった。何だ小佐野は、又何か悪い事したのかといったところで。金儲けだけでは尊敬されない。だから今はもう変化してしまった。先程いった農業時代は水車を廻して米をついた。

農業時代は山とか川、森林、そういう物を持つてた人が威張つていたわけです。いわゆる地主がそうです。産業時代は何かというと石炭、石油等を掘つてみなければ致仕方がないので資本家。そして労働者、労働組合等が威張つていた。現代は何か、現代は資本家といつても誰もそれほど尊敬しない。金を持っていても尊敬しない、ああそうかとそれだけの話です。最近は一世帯の貯蓄額が大体平均 600 万です。年間働いて年収が 400 万円、これが普通のサラリーマン

です。おれはそれより少いと思う人は明日からは遊びをやめて一生懸命働きなさい。

これが標準です。こうなつてきますとストライキをやつて一万円賃上げするよりは郵貯か、〇〇ファンドをやるほうが余程、手取り早いという事になる。汗だくになつてワツシヨイワツシヨイとやつて何ぼになるかという事です。一万円上げて 42 万円ではないですか。大した額ではない。中期国債ファンドでちよつと利回りを上げた方がよつ程早いという事になる。だから労働組合なんか流行しない。新聞社やテレビが何で労働組合のニュースを大きく報道するかといいますと、NHK の職員が総評の組合員なのです。だから自分らのやつた事は大きく放送する。新聞社も手前らの事だから大きく書く。一般の人は、労働組合の事など、関心を持っていない。資本家の事だつてそうです。あまり関心はない。資本家つて何ですか、株式会社の株主の事をいうのでしょうか。日立製作所の株主は 45 万人いるのです。

日立製作所の社員は何万人いるのかといえば、6 万人です。マルクス経済学によれば、少数の資本家が多数の労働者を搾取することです。これは 45 万人の資本家が 6 万人の労働者をしぼるとなるとマルクス経済学は成り立たなくなつてしまいます。だからこれは合わなくなつてしまつたのです。共産党や社会主義というのはもうこれからは流行遅れで現代社会には合わなくなつてきた。

知恵の時代と直接体験

今これだというのはセンスです。センスのある奴が勝つ。先程いつた感覚、林まり子なんか何んだか、さっぱりわからない、ぶさいくですが、これがごぼごぼと儲けているでしょう。一億、二億と儲けていますが、これはやはりセンスがあるからです。糸井しげさんとなんか私はどんな顔をしているのか知りませんが、何かへんなでたらめな文章を書いていますが、あれは一つの文章だけで 2 千万円とかいうでしょう。これがなぜそんなと思うのですが、これがセンスです。センスのある奴がいい、センスのある奴とはなんだ。知恵ということですが。

知識は何んだ、知識は電子計算機しかない、電子計算機が知っている。だから必ずしも東大になんか入れる必要はない。

東大へ入るには知識があれば入れるでしょう。しかし、これからは東大へ入れる親はアホというわけです、うちの子は何としても東大へ入りたい。東大へ入学できたテレビで喜んでいれるのが出ていたらああバカな奴だと思つていれればいい。世の中の移り変わりがわかつてないなあと思ひながら……。今は東大出るより知恵があればいいのです。

任天堂という会社があります。花札やトランプを作っている会社ですが、その従業員一人当りの利益が 3 千 170 万円です。従業員 400 人、決して大企業ではありませんが、何で儲けているかといえばテレビゲームで儲けているのです。

どういふ従業員がいるかといえ、任天堂の社長に東大出が何人いるかと聞けば「一人います、あとは名も知られていない大卒です。東大出を採用したら会社がつぶれまっせ、慶応とか早稲田とか名門はあきまっせ、それではどこだ」といふ。「聞いた事もない大学ですね。そしておまえ何か考えろと、そういうやつの方が知恵がおまっせ、知恵のある奴の方がよろしおまっせ。」と大阪弁で話してくれた。このように知識は電子計算機でみなくてはちやううので足りる。だから塾なんか行く奴はバカなんです。

皆さんのところのお孫さんなどで塾へ行っているのがいたら早くやめさせた方がいい。それより知恵をつけるにはどうしたらいいだろうとか、又いろんな所へ連れてって見せてやるとか、いわゆる感覚。これを鋭くしてやることです。いろいろな物をなまでみるという直接体験というのが感覚を鋭くする。間接体験というのはだめなのです。間接体験というのは知識だけで得て小生意気になって、少しも行動力を伴わない。植村直巳さんみたいな人は全部直接体験ばかりです。

間接体験ではだめで、テレビだけみたり、本だけ読んでいふのは全部間接体験で、何でも知っているけれど自分でやってない。鯉という魚は判っているが、鯉を自分で掴んだ事がないから鯉の感触は判らない。イルカならイルカを自分でさわってみる。イルカの尻尾で身体をピンと叩いてみてイルカというのは凄いものだという事がわかる。イルカが頭がいい魚だといふ

事はイルカを捕えようとして初めて判るのです。それをテレビや図鑑でいくらみてもそんな事は判りはしない。私が今晩こうしてしゃべった事は皆さんの印象に何となく残る。直接体験だからです。ところが雑誌やラジオ等できいてもあそこかとすぐにばあど忘れてしまふ。そこで私はよく子供に言うのです。同じ忠臣蔵を見るのなら映画やテレビでみては駄目だよ。又本で読むより、歌舞伎座へ行つて芝居をみて来なさい。これは直接体験です。同じ名作物語なら芝居をみて来る。役者が汗をばたばた流して芝居をみる。これからの教育はいろいろな体験を子供に憶えさせなければならぬ。だから運動部に入れてぶん撲られたら可哀そうだから止めとく、ヨットスクールに入れて半殺しになるから止めとくだとか。半殺しにすればいいんです。

あの時半殺しになつてもおれは生きていたんだというその根性が、何かバシッとやられた時にぐっと生き抜く馬力になる。

私など戦争に行つたから今なんとか偉そうにやっていけるのです。戦争へ行き、しかも戦争に勝つていたら今日私はやっていかれないと思ひます。戦争に行つてひどい目に遇つて敗けた。ひどい体験をしたから、あの時生きて来たのだから、おれは相当やっているんだ。どおつてことないぞという事になる。大抵の事には驚かなくなる。日本のバレーボールの大松さんがそうです。あのビルマのインパールから泥の中を退却してくる。自分の持っている物は全部捨て

て歩いている。まして、武器など重たくて持つてられないので捨ててきた。その時英軍に遭遇して戦わなければいけない。武器なしで戦えないので敵の兵を襲つて銃を手に入れそれで生残つた。そういう体験をしているから世界一の女子バレーボールチームも作れたわけです。それ以降の監督はだめです。あとは敗けてばかり、尻から数える方が早い。やはり大松さんは直接体験による所が大きい。何もしごくばかりではないのですけど、松平さんがやっているのを私も見えていますけど、しごいてばかりはいない。いないけれども彼はやっぱり慶応時代からバレーを一生懸命やっている。

あのバレーはスターリンが好んだのです。それはバレーというのは英雄が出ない。英雄が出ないから共産主義が一番いいといつて……。それで国営スポーツにしてしまった。そうしてバレーの選手というのは皆、家、屋敷をもらつてスターリンのおぼえもよくて大事にするから技術もずっと向上した。その当時日本のバレーは負け続けてどうしようもない時でした。その時に松平にソ連へ行つて技術を学んでこいと指令が出た。彼は日本鋼管の社員で金もない、米国と違つてアルバイトの口はソ連にはありませんがそこへ乗込んでいったのですから相当の根性だと思ひます。それで乞食みたいな恰好であちこちのバレーボールチームへ行つて掃除させて貰つたり、球の修理を手伝つたり、いろんな苦心談を彼はいつてましたが、そういう苦心しながらバレーの技術を修得してきた。ですから

松平康隆の「根性」

大松博文と同様、松平康隆このへんの所はやっぱり根性だわって、大松はスパルタ教育、松平は根性教育、これはないけれども、まあ一つの教育があるから、あれだけの世界一の打力を作った。皆さんもこれから従業員やお子さんをお作りになる時はいわゆる教育する時には、親父自らが体験しなければいけない。私もこのあいだ何でも体験せねばと思って、水へ潜るスキューバダイビングをやりました。二週間程ですがあれはとも気が持がよい。ポンプを背負って水中へ入ってゆくんですけどね。あれはいいもので、しかも水の中へ入ってみなければわかりません。映画でも全然だめです。自分自身が入るとわけが違ふ。伊豆あたりだとイカの大群がざあつと泳いでいてそれは壮観です。時間が感じられない。それで上へあがってきたら時間もたつていた。これはすごいなあと思つた。これが初めてなので翌日は体が、がたがたに疲れる。骨も身もみんな離ればなれになる位でした。しかし、スキューバダイビングの若者連と約束をしたので翌日も又呼びに来たので行きました。そうしたら三日間位熱が出ちゃってバツリです。62才という年齢にはかなりハードでこれには限界があります。何をやっても根性だけではだめです。水圧3〜4 kgでは耳がいたい。鉄の棒を入れられるようですが、私は昔飛行機に乗ってましたので急降下やつていて、敵の傍に近づき撃とうかなと思つていて、敵の傍でもって耳がガツと痛くなるそしてボカツと鼻血が出るんです。その時撃つ

根性

前に鼻をつまんで「クン」とやつて空気を抜くとスーとするのでそこで撃つ。それをやつてたから潜つても水圧でぎゅとくるとクンとやつて空気を抜く。スキューバの若者が62才でこんなにクンクンやつてのを初めてみたというのでこちらはいいい気持ちになって二日間もやつたものだから三日目にパーとなつてしまった。まあいろいろな失敗もありますけど、失敗はしてもいいのです。家族の扱いも変つてきました。それ以後、女房なごこれまで飯なんか作らないものが、結構作るようになりました。パパ作るうかなんていつて、かなり扱いが變つてきました。このまま父ちゃんひっくりかえつて居ないのでしよう。それと父ちゃんの偉大さが少しわかつたと思つたのですが、(笑い)ですからまず何かやってみる、この前も南洋のトラック島の海にいつてびっくりしたのは80才台の夫婦がボンベ背負つて、潜つて居るのです。アメリカ人の夫婦です。70才台の夫婦が聞いたら、60才で習つて女房は70才台で始めたという。アメリカ人の若々しさといふのはそこなです。パンと壁にぶつかつて先に行く事がわかつてない。何をやつていかに判らない。そういう時に彼等は集つてば、何かやるの必要なので、判らなくなつたら何かやる、そうすると何かこう出てくる。

次に電池の話。懐中電燈の電池、今から10年前位に松下電器産業のものすごく大きな電池工場を建てた。出来上つたら折からのボランジス

の開發もつて電池が使われなくなつていたので困つてしまった。

ところで松下電器という会社ははっきりして、会社の方針は赤字を出すな、赤字を出せば社員は左遷、その一番ひどいのは首となる。それが門真市に世界一でかい電池工場をつくつてしまった。それが売れないと大変でしょう。そこで皆えらいことだと考えた。松下のおやじさんは黙っているけど六月月たつと俺達は首だぞと必死に考えて、何でもいから電池を使うものを探せというので会議もそこそこ朝から外へ飛出して探した。そして夜の方が電燈を使うのでいい。夜も出て天ぶらやに行つた。天ぶら屋でガスコンロの火を消してつけている。それを電池でつければいいというので一週間程してサンプルを沢山作つて皆で手分けして飲食店へ行って「おっさんこれで火を付けてみ」と配つてマツチの代り使わせた。これは便利だというので店で使う。一ペんに20〜30本店へおいてゆく。

今度はお客がきて、そこでパツと火をつけると「何やおっさんそれは一つなもので松下から貰つた電池やというので皆をあげる。そうすると客は家に帰つて奥さんが使う。一度使えばマツチを使うより便利なので電池を使うようになり普及した。次に子供の玩具。これも全部電池。電池で動くオモチャ。そして工場がフル回転に入るころには全部オモチャ屋さんのオモチャに入るようになり何ら問題なくなつた。これは何かというと松下電池工場の全盛期

根性

ダツと行動したからです。何はともかく行動しろ、じつとしてはいけない。

今から200年前に農業時代から産業時代に入ったこの時には、英国では金持ちの息子達は農業は小作人が皆やってくれるので暇で、皆ロンドンに集ってき、やる事がないと困っていた。

何かやろうと話をしているうちにインドに行けば胡椒が安く手に入るらしい、それには皆で金を出し合って持つてこようではないかと相談がなり、会社を作ろうというので出来たのが株式会社で最初です。それを船で取りに行く、船で行くのでは危険が多いということから貿易会社をつくらうというので貿易会社を作った。そして貿易会社が船会社に発注する。途中で船が沈んだらどうするということで、保険を掛ける、ということから保険会社も作った。このように保険、貿易、船会社、銀行等というのは全部その頃のロンドンの遊び人がつくったのです。今はこういう文明の転換期です。新しい仕事、業種はいくらでも出て来るでしょう。皆さんの印刷業にしても、下手すれば、15、16年でなくなるかも知れません。有線テレビというのがあるでしょう。町の小さな有線テレビ局が5万円も出せば広告してくれますから、チラシ作って新聞に広告するより余程早いわけです。チラシ作る印刷屋さん、立ち所に失業ということになってしまふ。雨の中を一生懸命担いで歩く事はないのですから。だからチラシ広告を作るなら、有線テレビで出来ないような対策を今のうちから考えておかねばなりません。逆に有線テ

レビではチラシ広告とは何んだと又知恵を絞ります。そういうようにこれからは知恵をぐいぐいと出す。もう少し経てば、それから先はそんなに悪い世の中ではないでしょう。

希望ある未来

時間がなくなりましたから結論に行きましよう。これからは「希望ある未来」という言葉を使うようになってくる。米国ではこういう言葉が去年あたりからぐんと出てきた。今迄はあまり出てこなかったが新聞や雑誌ではうんと出てきた。その第一番目は何か。まず第一は年令が20才台時代がくる。今男は平均年令74才、女が79才です。という事は今、80才台時代でしよ、生物学的にいえば人間の寿命というのは、成長する年令の5倍、人間は25才迄成長しますから125才迄は生きる筈です。それが何故生きないかというのを酒を飲み過ぎたり、徹夜マージャンしたり、バーをうろうろ3軒もハシゴしたりするからややこしい胃ガンになったり、肝ぞうが壊れたりして死ぬわけですけど、そういう事をするしなければよいのです。そうすれば125才はいけるのです。

しかしガンがあるではないか、と言いますがガンはもうこれからはあまり心配ありません。米国ではもうガンの研究に今年から補助金が出なくなつた。昨年迄は出たが今年から出ないという事はもうガンの仕組が大体判つてきた。それでは早く薬を出してくればよいではないかといつてもそうは行かない。日本では薬を出す

には厚生省という、面倒くさい役所がある。あれを爆弾でぶっこわしてしまえば薬はすぐ出てきますが……。あの役所は丸山ワクチンですらなかなか許可しないのだから、袖の下を持つていけばすぐ出すけど、袖の下を持つて行かないと仲々出さない。今三共でも武田薬品でも新しい薬を出すには書類を1m80cm位積んで持つてゆかないと許可してくれない。誰が読むのでしょうか、そんな書類を読む人は誰も居ないのです。しかし一つの薬品を許可してもらうにはそれだけの書類を積み上げなければ駄目だ。読んでくれる人がいないのですから半年たつて読んでくれましたかと聞いてもまだ読んでないという。仕方がないから料理屋に連れていってお願いしますと袖の下をやるのと読んでくれるというのです。丸山ワクチンはそれをしないから駄目なんです。ガンの薬は出来ても厚生省の役人に袖の下を出さないので認可しないというわけです。そんな厚生省の役人をぶつつぶすには厚生省族の代議士を落選させねばならない。彼らを落選させようと思つても、銀座のバーや料理屋のマダムが頑張つてあの連中を一生懸命にかばつて支持するので仲々落選させられない。こうなつてくるとそれぞれの業界団体の利権が繋つてきますから。

そんな事で、200才時代はそこまで来ているが、政治家と役人の癒着でもつて、すぐにいい薬は出てこない。だからこれはちよつと時間がかかる。第2番目はいいよこれから地球がきれいなままで次代へ行けるという、地球保存計画。

地球の保存について世界が一致した。地球がこれ以上汚染されずにやってくれるだろうという見込みになってきた。今迄はソ連がどうしてもいう事をきかず、環境破壊についてはソ連がどうしても協力を示さなかった。自由主義陣営だけでいくらやっても駄目です。ソ連がようやくこの頃興味を示してきた。だからやりやすくなってきた。第三番目は年令が200才台になれば、バイオテクノロジー、生命工学がどんどん進んで優秀な人間が生れて来て、そして変な病気がなくなってしまう。難病がなくなつて死ぬべき老人が死なず、病気になる人がならずいくと、人間が増えて困っちゃう。今地球上の人間は40億人ですがあと50年すると100億人になる。100億人になるとサハラ砂漠にでも高島平みたいな団地を作らねば間に合わない。砂漠に団地を作るより宇宙へとび出そうではないかというわけで、今米国がチャレンジャーとか名づけて一生懸命やっていますが、皆他人事のように思ってますがあと30年もすれば皆さんも行く事になるのです。印刷組合も宇宙へ行ってやるかって事になる。(笑い) 大体今、宇宙へ行くのは世界一周する位の値段で行けるようになった。太陽と地球の真中にラグランジポイントという所がある。太陽と地球の引力が丁度つり合っている所で、そこは永久に引力が働かない。そこへ家を建てれば引力がないから永久に家はこわれぬ。地球では引力があるから何十年もすればこわれてしまう。引力がなければ柱を全部とって屋根をばんとかぶせればよい。だから引力のない所に家

を建れば一番いいしそこへ行けばリユーマチも腰痛も関係ない。

引力がないから体重がかからない、従つて腰が痛くならない。腰の痛くなる老人は皆宇宙へ行けばよい。そういう事でそのラグランジポイントに行くには何でいくかといえはロケットで山本のりの缶のように同筒形の乗り物にし缶を回転させると人間は重力で缶の内側にへばりつく。そして太陽の方へ向けて発射する。エネルギーは大陽電池を使い、大陽電池の充電がつきすぎるとばつとふたをすればいい、そして資源は何かという月へ行って月の石を持ってくればいいのです。月と地球は一緒ですから。月の石は地球の石と全く同じなんです。ただ月には何で空気と水がないかという地球の大きさの10分の一しかないから、従つて引力も1/10位しかないのも水もなくなつてどこかへいったのです。月がもっと大きくなつて引力さえ作れば水もできる。だから月から石や土をとつてきて、ぎゅつと絞れば水や空気もできるわけです。

そうやっていくと一千万人は生きてゆけるんです。そして地球へ帰つてきたければ、三週間もあれば世界一周位の値段で(180万円位)で帰れる。

これがあと15年から20年位後の値段です。民営にでもすればもっと安くなるかも知れない。親方日の丸にしてしまうと又これ全通だの国鉄だのが出てくると高くなります。だからこの計画がいよいよ実現可能な時代になってきた。世の中変ってきます。そうすると又いろいろな

商売がでてくる。印刷ばかりが商売としてやつてかなくてもよい。(笑い) この前リツカーミシンの再建管財人の大山さんと話をしてみました。大山氏曰く、こういう時代は商売がだめになつてつぶれる人は幸せなんです。何でかというとそこで新しい仕事に踏み切れるからだ。人間というのは新しい仕事に追い込まなければとてもふんざりがつくもんじやない。だから追い込まれて踏み切つたらこれはいいんだ、これから未来の産業に踏み切つたらその人たちは幸せです。なまじ今の仕事で飯を喰えりやこんな事する必要ないからです。

そんな危い事するなと女房や子供は反対するしね。そうすると、じりじりと貧乏になつちゃうし、だからリツカーは幸せなんですよ。(笑い) とこう大山さんは言うので私はああ成程、物は考えようだと思いました。

まあ今日、私は疎い話ばかりしましたけれど、もう、もうでもなく、”ホープ・オブ・フューチャー”(希望ある未来)、結構これからは面白い話もきつと出てくるという事を信じて、一寸話がかた過ぎたかも知れませんがこの上に立つて皆さんのお顔を拝見した時に、ちよつとインテリジエンスのある方があまりに多くいらつしやるので、あまりくだらない話をするよりも少し難しい話をした方がいいのではないかと思ひまして固い話になり失礼しました。(拍手)

山谷親平講師急逝、11月28日(水)午前六時半急性ジン不全のため逝去。御冥福を祈りまして、心から哀悼の意を表します。(編集部)

需要開発研修会開催

勤労福祉会館

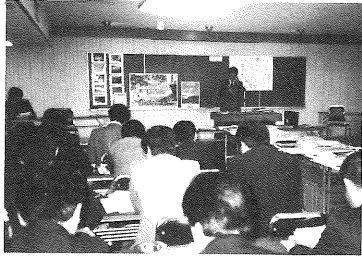
“いつ迄もあると思うな今の仕事”

他人に花壇を荒らされないように、自分で育てようをテーマに、十一月九日、十六日の両日勤労福祉会館に於て、日本プリンティングアカデミーの全国キャラバン隊による、需要開発研修会が開催された。需要開発委員小山英美氏（11日）、斉藤喜徳氏（16日）の挨拶で始まり、参加人員10社23名（11日）、9社26名（16日）が出席した。

日本プリンティングアカデミーの高畑伝教授（11日）、浜照彦教授（16日）が、会場中央に展示された需要開発につながる資料や情報のノウハウを具体的実例を示し説明された。参加者は各種の製品を自分の目で見て、手で取りながら関心と理解を深めていた。

尚、京橋支部主催の他に月島地区でも独自に11月8日開催し26名の参加をみて、支部と合せて三回の研修会で約80名の方々が深夜迄、熱心に受講し、従来になく研修は好評を博した。○需要拡大の突破口として

- ①セールスマニュアルを作る
- ②セールスキット品を作る、通販。
- ③市場調査データ表を作る



る。○需要拡大の指針として

- ①価格競争に入らない、プラスアルファのアイデア、②情報のトータルサービス化、③ニューメディア、ハイテック/ハイタック、メガトレンド、④プロになる、原稿作り、P&Aファイリングシステム、⑤ブリッジパーソン、⑥地球的発想で行動⑦管理の時間を作る。

地区だより

築地地区

互友会懇親旅行記

日刊食料新聞 近藤記

「牛に引かれて善光寺参（詣）り」という諺がある。いわれはさておいて今年の我が互友会の懇親旅行は牛ならぬバスに揺られ……「善行寺詣りと合なった訳である。午前八時半熊谷印刷さんの前を出発、首都高速高島平インターから関越高速に乗り、高崎経由鶴水峠を越えて軽井沢から一路善行寺へと向う。途中の道路は土曜日割には車の数も少なく絶好の天気恵まれて快適なバス旅行となった。旅行は天候が左右する。ふと一昨年の房州旅行が雨だったことを思い出した。幹事さんの切角の苦労が天候には勝てず残念だったが雨は雨なりに風情があっ

た訳でそれなりの満足度を味わったことになる。決して幹事さんへのなぐさめの言葉でもなく大多数の人はそう思っていたようだ。

今回は常連の三ツ森さんと本間さんが同行できず総勢二十名。バスは前回と同じロイヤル自動車ホステスが一人ドリンクサービス等にあたって呉れる。互友会には酒豪は見当たらないが嗜む人は多いらしい。今だに築地地区に「トラ」が出たという話は聞いていない、今後出たとしてもおとなしいメスのトラに相違ないだろう。

日頃ゴルフで通いなれた関越高速もバスで通ると雰囲気も違う。窓から眺める秩父連山も、頂上から半分近く雪を頂いた遠くの山並も眺望がよくバス旅行の醍醐味を味わう。皆思い思いに過す。確水峠を一気に越えたが、フト自動車のなかった時代の人々は大変難儀だったろうと思いを馳せながら、途中二カ所の休憩昼食をすませ一路善光寺へ。この頃になるとバスはやや遅れ気味。

善光寺が宗派の別なく極楽浄土の門として親しまれているのは冒頭に述べた諺によると「人に誘われて偶然によいことをしたり、よいほうへ導かれたりすること」だからだという。その昔長野の善行寺近くに住んでいた不信心な老婆が、布をさらしておいたところ、その布を角に引つけて隣家の牛が走り出した。そこで老婆がその牛を追ってゆくうちに善行寺に着き、それが縁で信仰を始めるようになったという話が生まれたものと言われる。バスを降りると一同善男

善女になり国宝である金堂へ。まず線香でみそぎして階段を上がり、外陣、内陣からご本尊が安置されている瑠璃壇のある内々陣で手を合せ。さすが国宝だけあって建物のすばらしさに頭が下がる。二八三年前に建てられ、全ての人々が堂の内陣に入り、み仏との結縁が得られるようにとの心くばりから生れた善光寺独特の建築様式。と参拝のしおりに書かれているが他の寺との違いがよくわかる。戒壇めぐりは闇夜では味わえない暗さだ。善男善女が善光寺でしかできない戒壇めぐりで心を洗う。本堂前で記念写真を撮る。参道の仲店をひやかしながら駐車場へ。そして一路今夜の宿上山田温泉の「ねずみや」へひた走る。

「ねずみや」はチュウチュウのネズミでなく「寝ず身村」出身の創業者が付けた名前であるとお主将の説明で納得した次第。寝ず見村には佐渡の金山からの金を運ぶ街道があり関所があったという。中庭に露天風呂があった。誰かが見たような露天風呂だという。そういえば二日前のテレビで紹介された場所であることがわかった。お待かねの宴会は地元芸者三人のサービスで盛り上がる。都都逸、小唄と続き最高潮となる。お座敷芸のナンバーワンは川俣さんだ。同じ都々逸でも川俣さんがうたうと敷の雰囲気ガラリと変わるから不思議だ。長年の経験かそれとも月謝のせいかわからない。人徳のせいかわからない。幹事の心使、気使いもあって今宵の座敷も格別といった風情に連られて時間も長くなり、すっかり旅の疲れを癒した。ここ上

山田温泉はその方面でスツカリ有名になった処だが、翌朝裸にされた人はいないという報告でひと安心。

紅葉にはひと足早やかかったが千曲川の流れる旅情を満喫したり、温度の割にはよく暖たまる露天風呂に二〜三回入ったり、それぞれ旅行を楽しんだようだ。ゆったりした気分も朝食まで、サービスの行届いた従業員の暖かい見送りを受けてバスの人となる。みやげ物で荷物が多くなる。途中リング園でリング狩り、信州のリングの香りで満腹にし、一路東京へ。天気もよく、事故もなくすばらしい旅行となった次第であります。



善光寺金堂前での記念写真

支部の動き

- 9月1日 本部敬老の集い、於明治神宮斎場、京橋支部該当者、77才以上事業主35名、内11名出席。白橋副支部長、代理出席。
 - 9月5日 京青会主催、山谷親平氏講演会、於中央会館、京青会35名、支部70名計105名出席しこれからの生き方、印刷業のあり方等に博識を傾聴。本文参照。
 - 9月11日 中央区工団連印刷関連分科会、於支部会議室、印刷・製本実行委員15名出席
 - 9月19日 部長・監査・地区長会、於支部室
- 一、当面する支部事業について
- (1) 支部組合員名簿、自社設備広告募集状況
 - (2) 需要開発キャラバン隊研修会11月開催
 - (3) 税務研修会の開催は来年に行う。
 - (4) 中央区工業文化展、出展内容出展物募集
 - (5) 新年臨時総会々々場2/2(土)、熱海翠光園ホテルに8月下見調査の結果、決定。
- 二、印刷の科学博、支部割当特別招待券2千100枚、内953枚を組合員で消化。約48万円を印刷広報センターに納入する。
- 10月6日 京橋製本協同組合懇親旅行、於湯本温泉、小栗支部長、長島副支部長出席。
 - 10月12日 工業文化展印刷関連分科会、於フォーラム協議会室、出展物打合せを行う。
 - 10月12日 部長・監査・地区長会、於日本橋、箱崎エアータミナル、龍鳳、会費三千円。
- 一、当面する支部事業について

(1) 需要開発研修会開催、11/9、11/16の予定、場所、東京都勤労福祉会館
 (2) 中央区文化展出張当番割当、各地区毎に半日毎に3名交代で行う。

(3) 同文化展協賛金額、組合員63社64万円、関連業者8社18万円、合計82万円。

(4) 支部会議室のレイアウトを検討する
 二、本部連絡事項について、

(1) 新加入組合員説明会、10/2銀座キャピタルホテル、対象34社。

(2) 構改調査票、早急に回収を行う。
 10月16日 中央区工団連常任理事会、於中央区役所、小葉支部長他出席。

10月23日 中央区工業文化展開催、於日本橋、三越七階催物会場、部長・監査・地区長他出席して打合せを行う。

10月26日 中央厚生事業協組理事会、於帝都信用金庫ビル、長島・宇津木各理事出席。

11月6日 支部長会、於銀座キャピタルホテル会費四千円。小葉支部長出席協議を行う。

11月9日 需要拡大研修会開催、於都勤労福祉会館、会費千円、10社23名出席。

11月10日 支部報編集会議、於支部会議室、神林・尾島両編集委員と12月号を話し合う。

11月14日 部長・監査・地区長会

一、当面する支部事業について
 (1) 需要拡大研修会開催結果、非常に具体的に説明を受け好評だが、来場者が少なく残念でした。

(2) 顧問・相談役・参与及び役員合同懇親

会、12月21日(金)、京橋会館会費5千円
 二、支部長会報告、各委員会報告
 。資料対策委員会、P.S版値上げ問題。

10/8、富士フィルムとの懇談と回答。アルミ地金の下落価格は続かないと思う。又アルミ板は従来通りの価格で購入しているのが原価引下げにならない。

今回の改訂については4/1付代理店に対し一斉に実施し完了している。

印刷業界についても、6/1付改訂させて貰うよう代理店へ要請した。ほぼ改訂は完了しているが一部のユーザーの納得が得られない状況で、今のアルミ市況の推移によってはP.S版価格の検討を考える。

P.S版値上げ阻止運動のPRについて、PRスローガンを「東京の印刷」にのせる。各支部にも掲載を要請し、業界紙の日本印刷新聞にものせる。「資料値上げを阻止しコストアップを防ごう」のスローガン。

小西六写真との懇談とその回答、諸経費、特に運送費の高騰で55年に比べ27%も上昇し、この吸収のため改訂になった。現在新製品を発表したがこれは実質値上げにならない。

○ 構改委員会、構改調査票の提出数、11/5現在約85%で、11月末迄に回収。地場産業等振興対策資金の概要、設備、研究開発のための資金、三千万円迄融

資、700万円以下は年5.0%、7年期間、それ以上は年5.2%の利率で11年期間。尚申込者は東印工組で証明を貰う事。

11月16日 需要拡大研修会開催、於都勤労福祉会館、会費千円。9社26名参加。
 お悔み申し上げます。

▼10月21日 新富地区、日本精版印刷(株)、社長御令聞、中村徳子様が御逝去されました。

▼入船地区、音和堂印刷(株)社長御母堂、坂本ヤエ様が御逝去されました。

告知板
 京橋支部会議室を今度模様替えしましたが、古い折りたたみ机(会議用)が10脚、同折りたたみイスが50脚程不要となっていますので、御希望の方は事務局岩本迄、電話下さい。無料。

とかく暮には話題にことかかない。
 中曽根改造内閣誕生、新札発行で、馴じみの聖徳太子ともお別れ、印刷技術面では世界最高とか、ガンジー首相の暗殺、強いアメリカで再選のレーガン大統領、企業を殺すのも刃物がいらぬ森永事件、キャプテンサービスのスタート、「基準地価一段と沈静化」の新聞見出しに反し地元京橋では、大企業の土地買占めとニューメディアの攻勢に、ともすれば土地を売って廃業に拍車がかからないともかぎらない。わが街、いま・あしたの為に頑張りましょう。広告は次号に掲載させていただきます。

編集後記

とかく暮には話題にことかかない。
 中曽根改造内閣誕生、新札発行で、馴じみの聖徳太子ともお別れ、印刷技術面では世界最高とか、ガンジー首相の暗殺、強いアメリカで再選のレーガン大統領、企業を殺すのも刃物がいらぬ森永事件、キャプテンサービスのスタート、「基準地価一段と沈静化」の新聞見出しに反し地元京橋では、大企業の土地買占めとニューメディアの攻勢に、ともすれば土地を売って廃業に拍車がかからないともかぎらない。わが街、いま・あしたの為に頑張りましょう。広告は次号に掲載させていただきます。